



僕は今高校3年生で、ただ宇宙が好きで小学校のときに初めて本気になれた勉強が宇宙のことで、宇宙関係の勉強をしたくて大阪大学理学部物理学科志望しました。

大学で実際には地道に微積分などの計算を巧みに利用して物質などを研究してるのですか？

僕は物理は好きですが高校レベルの物理だし、大学に入ったらどうなるかっていうのは見当が付きません。

だから物理をつかう工学部や基礎工学部にも興味があったのでそのオープンキャンパスにもいきました。

理学部独特のおもしろさってというのはどういったものですか？



大切なのは、地道な勉強や研究を続けていても、「僕はただ宇宙が好きで…、宇宙関係の勉強をしたい」という《初心》や《興味》を、恒に心に抱いておくことです。これが、科学(理科)の発展の原動力になります。

実際の研究では「微積分などの計算を《巧みに》利用」しているわけではありません。

試行錯誤しながら、ある時は「巧みに」、ある時は「失敗」しながら、研究は進みます。

理学部独特のおもしろさは、

- 科学的成果をもたらす利益を顧慮することなしに、純粋に科学や自然の美しさに惹かれ科学的発見を夢見て勉強・研究を進めることができる。
- 一見自明に見える事項に対しても、「なぜ？」という疑問を抱いてその根源を探ろうとする意欲・願望をもっとも直接的に充足できる。

と言えましょう。

自分の興味に従って《徹底的に》理解しようとする努力が、諸手を挙げて奨励されるのは理学部・理学研究科のみだと思えます。